

体育会軟式野球部 福工大スポーツ

NO.5

3年連続で掴んだ全国大会



福岡工業大学体育会軟式野球部は、令和5年九州学生軟式野球連盟春季リーグ大会において、優勝。

強化部以外の体育会で、3年連続全国大会出場という快挙を成し遂げた。

(逆境にも全員で立ち向かった)

全国大会出場までの道のりは決して平たんではなかった。

同じく全国大会に出場した昨年や一昨年と異なり、主力となる3年生が僅か3人しかいなかった。現3年生は、新型コロナウイルス感染症の蔓延が深刻化するなかで、新入部員の獲得がうまくいかなかった世代なのである。

今年度のチーム編成は難航を極め、一度、引退した4年生に残留してもらい、2年生選手の強化をも図った。

そのような中で春季リーグ大会がスタートした。

北九州市立大戦、九州共立大戦、九州大戦と順当に勝ち進み、決勝では強豪九産大と対戦することとなった。

1回表 本学の攻撃はあっけなく3人で終わる。

この日の先発は、黒木大輔(3年・電気)だ。九産大の強力打線を前に、何とか0点で抑えたものの、立ち上がりが乱れ、チーム内で暗雲が立ち込める。2回 本学が先制点をあげ、4回には、山口大輔(1年・電気)がホームランを打ち流れを引き寄せる。続けて5回に白瀧啓人(4年・社環)と岩崎晃大(2年 電子情報)のホームランで試合を決定づけた。投手の黒木はしり上がりに調子をあげ、8回の交代まで九産大を無失点で抑える

全国大会のチーム目標はベスト8。全国大会に出場した2年間は、いずれも初戦敗退に終わっている。チームを率いる主将の山口拓朗(3年・情報)は、「本学は、ピッチャーがいい。ピッチャーを中心にリズムをつくって流れにのればいい。あとは積み重ねてきたものを信じて頑張るだけ。」と力を込め、全国大会ベスト8を目指す。



令和5年九州学生軟式野球連盟 春季リーグ大会の結果

- 8-1 北九州市立大
- 3-0 九州共立大
- 11-1 九州大
- 9-2 九州産業大

第46回全日本軟式野球選手権大会

日時: 8月26日(土) ~
(初戦8月26日)

対戦: 未定

場所: 八王子スリーボンDstadium